商工会議所ニュース かわら版

No.19

新発田商工会議所
日本商工会議所

商工会議所数：514
総会員数：127万会員

商工会議所は、明治11（1878）年に、商工業者の意見を集約し、政府に建議要望等を行う機関として初めて東京に創設され、以後、現在までに全国514カ所に設立されている、あらゆる業種・業態の商工業者からなる「地域総合経済団体」です。

◆日本商工会議所　第118回通常会員総会を開催

岡村会頭「中小企業の活力強化と地域経済の活性化を」

安倍総理「『強い日本』を取り戻すため、全力で取り組む」

約800人を前に挨拶する岡村会頭

安倍総理大臣

茂木経済産業大臣

自由民主党
石破幹事長

民主党
海江田代表

日本維新の会
平沼代表代行

公明党
山口代表

みんなの党
渡辺代表

日本商工会議所は9月19日、第118回通常会員総会を都内で開催。全国の商工会議所会頭・副会頭ら約800人が出席した。開会挨拶に立った岡村正会頭は、「商工会議所は、イノベーションの担い手であり、今後も企業の活力強化と地域経済の活性化に向け、突き進まなければならない」と強調した。

その後、安倍晋三内閣総理大臣からビデオによる挨拶があり、安倍総理は、「『強い日本』を取り戻すため、政府を挙げて全力で取り組む」との意欲を表明。「民間企業の投資・雇用・賃金が、デフレ脱却を実現させるためには必要」との認識を示し、協力を呼び掛けた。

さらに、茂木敏充経済産業大臣をはじめ、自由民主党・石破茂幹事長、民主党・海江田万里代表、日本維新の会・平沼赳夫代表代行、公明党・山口那津男代表、みんなの党・渡辺喜美代表が祝辞を述べた。

「被災地報告」では、東北六県商工会議所連合会の鎌田宏会長（仙台商工会議所会頭）と福島県商工会議所連合会の瀬谷俊雄会長（福島商工会議所会頭）が継続的な支援に対する謝意や被災地の現状を報告。風評被害を打破し、震災を風化させないよう、より一層の協力を依頼した。その後、岡村会頭が、全国の商工会議所に対し、息の長い支援を呼び掛けた。

また、同総会に合わせて、「514の絆」と題した復興祈念誌を発表。東日本大震災からこれまでの2年6カ月にわたる商工会議所の復旧に向けた取り組みや、今も復興に向け懸命に力を尽くす被災地の状況を掲載し、震災の記憶を風化させることなく、震災から得た教訓を後世に伝える内容となっている。

平成25年10月発行

商工会議所CM「魅力を伝える・つなげる篇」http://youtu.be/eI_409YNqiE

Copyright 2013　The Japan Chamber of Commerce and Industry. All rights reserved.

◆政労使会議

岡村会頭「賃金・雇用の土台は成長戦略の具体化」

日本商工会議所の岡村正会頭は9月20日、政府が経済界・労働界の代表者と景気回復に向けた課題を協議する「経済の好循環実現に向けた政労使会議」に出席。商工会議所の意見を陳述した。

同会議には、政府から安倍晋三内閣総理大臣、麻生太郎副総理・財務大臣ら、関係閣僚が出席。経済界から岡村会頭らが、労働界から日本労働組合総連合会の古賀伸明会長らが出席した。

会議の冒頭、政府側が「経済の“好循環”実現のために、どのような課題があり、その解決にはどのような対応が必要か共通認識を醸成したい」、「あるべき政策の枠組みや、労使における取り組みの方向性など、大所高所に立った意見をいただきたい」と呼び掛けた。

岡村会頭は「中小企業にも景気回復を実感する企業が出始めている。人手不足感も続いているが、今後、雇用の拡大につなげていくためには、企業が景気の先行きに確信を持てるようにすること、雇用のミスマッチの解消のために能力開発を強化していくことが必要」と主張。また、新卒者について、景気回復に伴い、大企業への回帰傾向が出ていることから「インターンシップやキャリア教育を通じて職業感を醸成し、中小企業の魅力を広く伝えることが重要」と商工会議所としても努力を続けていく考えを示した。

さらに、「賃金・雇用の土台となるのは、成長戦略の具体化である」と強調。「地域経済を支える企業の生産・投資が、地域の消費を活発化させ、それが新たな投資、雇用、賃金上昇につながる好循環を創りだしていかなければならない」との考えを提示した。

議論を交わす岡村会頭（右から2人目）と安倍総理（左）

最後に安倍総理は、「日本経済はダイナミズムを取り戻す方向に動き出している」との認識を示した上で、「今は、この動きを企業収益・賃金・雇用の拡大に伴う好循環につなげられるかどうかの勝負どころ。政府も好循環実現に向けて思い切った対応をするので、経済界・労働界にも大胆に取り組んでもらいたい」と呼び掛けた。

◆全商女性連宮城全国大会

明るい未来につなげる絆をテーマに開催

全国商工会議所女性会連合会（全商女性連＝吉川稲会長）は、9月5・6日、仙台市（宮城県）で「第45回全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会」を開催。開会挨拶に立った吉川会長は、「被災地域の早期復興・福島の再生のために一層の力添えをお願いしたい」と語った。

続いて、日本商工会議所の岡村正会頭は、「女性ならではの、しなやかで豊かな感性に加え、柔軟な発想力・行動力を発揮し、商工会議所活動に新たな活力を与えてほしい」と挨拶した。

その後、「第12回女性起業家大賞授賞式」「全商女性連表彰授賞式」が行われた。

349女性会から3,491人が出席した

最後に、来年度の総会開催地（神戸市）の神戸商工会議所女性会の磯田弘子会長ほか県内会長から総会への参加が呼び掛けられた。

（お問い合わせ先）新発田商工会議所
〒957-8550　新発田市中央町4-10-10
TEL:0254-22-2757　FAX:0254-23-5885

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。

平成25年10月発行

商工会議所CM「ビジネスはもっと繋がる篇」http://youtu.be/iKhy-UgVTno

Copyright 2013　The Japan Chamber of Commerce and Industry. All rights reserved.